



世界遺産とメイキャップ

アントニ・ガウディ作品群



バルセロナ・ロータリークラブ

例会日 木曜日 15:00～
例会場: Gran Via de les Corts Catalanes, 647,
Barcelona, スペイン
電話: +34 609 86 11 58



● 会長挨拶

会長 堀内満喜子君

皆さんこんにちは！本日は岩崎守富さんに出席していただいております。岩崎守富さんの入会に際して理事会で承認され会員各位に通知の上、正式に入会が認められたことを報告致します。そして10月10日を特別に一回目とさせていただき今日は2回目の出席になります。来週は入会式を行いたいと思いますので皆さんよろしくお願ひ致します。

今日は、青少年交換委員会のお話をさせていただきます。私は、今年度から地区の青少年委員会の委員をさせていただいております。10月20日(土)に第1回派遣学生オリエンテーションが米山記念館でありました。このオリエンテーションは次年度の長期交換派遣候補学生に対して行われ、次年度の交換学生が正式に決まります。

そもそも、青少年交換プログラムはどのように誕生したのかということですが、1905年にアメリカのシカゴに誕生したロータリークラブは、その創立当初から我々の次の時代を担う新世代(青少年)育成プログラムに注目してきたようで、障害児童のための支援プログラムや読み書きができない子供たちの教育のための奉仕プログラムを実施してきたそうです。発足当時は少年刑務所の受刑者の大半が青少年であったという現状から、ロータリーこそ青少年を正しい方向に導くべきであるという願望と、それを実現できる力があることを認識していたそうです。

ロータリーにはインターアクト(14才～18才)は1962年に誕生しローターアクト(18才～30才)は1968年に、ライラ(青少年指導者育成)は1959年と新世代を育成するためのプログラムが多く存在し、その一つに青少年プログラムがあります。青少年プログラムは1929年にアメリカとデンマーク・コペンハーゲンの子供たちの交換から始まり、現在は150カ国以上8000名以上、日本においても50カ国以上200名弱の世界に留学しています。

第2620地区は今年度インバウンドの高校生は5人で、御殿場RCにアメリカから、リリー(女子)・浜松RCにドイツからアーロン(男子)・浜松南RCにデンマークからカローネ(女子)・磐田R

Cにフランスからレンゾ(男子)・甲斐RCにイタリアからイニェアツィオ(男子)です。地区大会では、5人で歌と踊りを披露してくれるそうで先日米山記念館で練習をしていました。地区大会に行かれる方は是非、見てあげて欲しいと思います。よろしくお願ひ致します。

国際青少年交換プログラムは数ある国際奉仕活動のうちでも価値ある奉仕活動の一つといえると思います。この奉仕活動には多くの困難と煩わしさを伴うことがありますが、本人はもちろん地域社会のためにも、そしてクラブにとっても計り知れない大きな成果を上げることができる奉仕活動だと思っています。三島RCにも交換学生を迎えることができるよう、若い人たちが頑張ってくれることを切に願っております。

● 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前回	36/42	85.71%	37/42	88.10%
今回	36/43	83.72%	会員総数:46名	

<欠席者>

- ・今福君 ・河田君 ・中山君 ・福士君 ・松田君 ・山本君
- ・渡辺(妙)君

● 幹事報告

幹事 佐藤浩美君

- ①本日の卓話、米山善博君のゲスト積惟貞パストガバナーです。
- ②次回11月7日は、岩崎守富君の入会式を行います。
- ③10月27、28日地区大会が行われます。関係者の皆様、朝早くからですがよろしくお願ひいたします。
- ④例会終了後、臨時パスト会長会を行います。パスト会長の皆様よろしくお願ひいたします。



卓話 『米山梅吉記念館について』

公益財団法人米山梅吉記念館理事長
積惟貞君(沼津RC)



皆さんもご承知のように、米山翁は少年期を過ごされた長泉の地を大変愛され、晩年はこの地にもどられここで逝去されました。ご遺族がこの地に住まれていなかったため、他人の手にわたり米山翁の遺徳を偲ぶべき根拠を失うことを恐れた地元ロータリアンが、米山翁が晩年過ごされた別邸は無理にしても、せめて少年期を過ごした米山家の本宅を譲り受け記念館設立にこぎつけました。来年は最初の記念館(現在の児童図書館)設立から満50年を迎えます。その後同敷地に隣接して現在の記念館が建てられましたが、その建物すらも20年となり、その魂ともいべき展示場も20年前のまま時間が止まってしまった状況なのです。

来年9月14日(土)、例年の秋季例祭に合わせて米山梅吉記念館50周年の祝賀行事をいたしますが、それに合わせて各種の事業を計画いたしました。まず一般人向けに「米山梅吉物語(銀の鈴社出版)」、ロータリアンには「米山梅吉150の提言」などの出版、老朽化した記念館の展示場、書庫、などを改装いたします。それに三島RCの久保田さんのお力で庭の月桂樹の苗を育てることができました。希望の地区にお分けしたいと思っています。この樹の苗は米山翁がポール・ハリスと帝国ホテルの庭に植樹したあの月桂樹の孫に当ります。文藻の人でもあった米山翁は短歌や俳句を好まれ、その作品は門外漢の私ですら一流のものと思認できますが、翁自身が気に入って揮毫した句碑が記念館の庭に2基あります。このように展示場だけではなく、記念館の庭も常に整備が必要と思います。

私の地元沼津市には若山牧水、芹沢光治良、井上靖などの記念館(文学館)がありますが、一部の熱烈なファンに支えられても故人を顕彰するのみでは、なかなか展開が困難であるようです。米山梅吉記念館も米山梅吉がいかにか生前、実業家として、教育者として、文藻の人としてそして奉仕の人として優れていても、同じことがいえると思います。一点大きく違うのは、翁が日本のロータリーの祖としてその基礎を築かれ、そのロータリアンは地域の社会的、倫理的責任を自覚したリーダーたちの集団であるという事です。50周年を機として、米山梅吉記念館は、単に米山梅吉個人を顕彰するだけの場ではなく、地域のリーダーである、日本のロータリアンが自己研鑽に資する情報発信の基地として必要とされる記念館に脱皮したいと思っています。

委嘱状



ロータリー財団監査委員会委員
宮内正敏君

● ゲスト・ビジター

岩崎守富さん(杉村君・松田君のゲスト)
積惟貞君(沼津RC・米山君のゲスト)

● 会員祝事

奥様誕生日:稲葉良弥君 加藤頌吾君
入会記念日:谷村宏勝君
結婚記念日:関則雄君 太田成幸君



スマイルBOX

- 積 惟貞君(沼津RC)
卓話をさせていただきます。とりとめのない話となりますが
お許しください。
- 米山善博君
本日の卓話を指名されていましたが、今日は公益財団
法人米山梅吉記念館理事長の積パストガバナーに話を
頂きたいとお願いしてあります。宜しく願い致します。
- 権野均さん(元会員)
10月21日の日曜日の朝に何気なくテレビのスイッチを入
れたところ、妙子先生が画面に現れ驚きと感動を覚えま
した。三日月宗近をはじめ、名刀の数々についてお話を
されるお姿は、刀の持つ美しさと共に聡明な妙子先生の
凛々しさが心の奥まで伝わってきました。これからも私た
ちの素敵なお手本としていつまでもご指導ください。